ARONIBURRE & U

編集 · 発行

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

____ 発行日___

講習会のご案内 「クリスマスからお正月の寄せ植え」

とき 平成18年12月10日(日) Pm 1:30~3:30

講 師 フラワーマスター 山本 裕美 さん

定 員 30 名 教材費 2,000 円

会 場 緑の相談所緑の学習室(旭川市神楽岡公園内)

年末年始の休館のご案内

平成18年12月29(金)~平成19年1月4日(木) までの7日間、緑の相談所は休館させていただきま す。1月5日(金)より、通常通り開館いたしますの で、どうぞ、よろしくお願いいたします。

緑の相談所

難しい読み方の漢字クイズ。

もう、季節は冬真っ盛りになってきましたね。

今回も読めたら素晴らしい!! 漢字クイズをつくってみました。 お時間があればチャレンジして見て下さい。

全部で15問あります。あなたは何個わかりますか??

ヒント! 今回も答えは全て植物の名前です。

さらに、なんと今回の漢字は全て食べられます!!

山葵し

山 椒 生 姜

甘藍

牛 蒡

木 耳

蕪

茗 荷

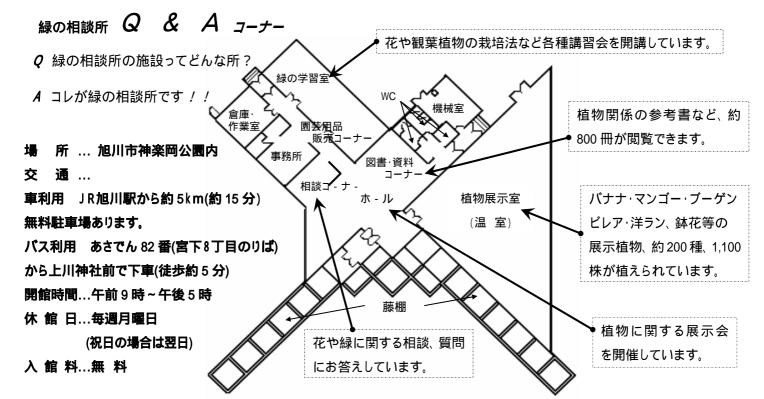
鹿尾菜 扁 桃

_ -

李 万寿果

甘蕉

(回答は裏面に記載しています。)



お申込み・お問合せ・ご相談など

旭川市緑の相談所 🤠 (0166)65-5553 まで。どうぞお気軽にお尋ね下さい。

ペチュニア [その] ナス科ペチュニア(ツクバネアサガオ)属

続々と誕生する新品種

アメリカのベディングプラント産業の急成長は、切花産業や鉢物産業を瞬く間に追い越してしまいました。この影響はヨーロッパをはじめ全世界におよび、ペチュニアの育種には大量生産に適するような早咲き性、コンパクト性、花の上向き性、一斉開花性、多花性そして各色がすべてこれらの性質を持つことなどが求められました。また、苗の生産者にとっても種を蒔けば 100%に近い確率で発芽し、しっかりした苗が育つという種子が求められるため、育種に植物病理班と種子生理班が共同で当たらねばならず、育種経費の増大といった過酷な競争の時代に入りました。

その後もサカタのタネは、花の世界4強の一角を担い、ピコティーシリーズの「レッド・ピコティー」は 1983 年にAAS(世界的な花の品評会)入賞に輝くなど、常に世界のペチュニア育種界をリードしていました。

一世を風靡した「サフィニア」

花の育種業界がこぞって生産者向けの品種作りに励んでいる中で、こんな色のペチュニアがあっても市場性はないだろうと専門家が見ていたものが、「あれよあれよ」という間に世界的な大ヒットとなった品種があります。これが、サントリー社のペチュニア「サフィニア」です。新し〈発見された<u>ほふ〈性</u>の野生種と市販品種を交配して作出されたもので、横に広がる枝にあの野生の赤紫色の花を絶え間な〈咲かせる挿し木で増やす品種です。これは、一般の消費者が花壇で簡単に咲かせる点を、マーケッティングで強調して大成功を収めました。今やヨーロッパの吊り鉢でどこの街角、窓辺でも見られるほどの人気者になっています。また、アメリカではキリンビール社の作出した種子系の「キリンウエーブ・シリーズ」のほうがはるかに普及しているのも特筆できます。これは、苗業者が種子繁殖できる系統を好むことからです。

サカタのタネは<u>ほふく性</u>ペチュニアで全 6 色の「クリーピア・シリーズ」を秋遅くまで咲き続ける長期開花性を特徴として売り出し、その後、メルリン、ドルチェ、ホライゾン、バカラ、リリカシャワーなど多くのシリーズを市場投入し、ペチュニア販売界をリードしています。その後、サントリー社は小輪多花性のミリオンベル(カリブランコア属)、キリンビール社はボンフリー、ウエーブの新色「ブルー」などを発表、これからも各社の新品種の開発に大きな期待がもたれています。

(坂田種苗 KK 須田畯一郎氏のレポートから引用)(完)

展示室の植物たち シリーズ「10」

プルメリア キョウチクトウ科プルメリア属

熱帯アメリカに分布し、7~8 種あるといわれています。熱帯では常緑ですが、当温室では冬期の温度不足で落葉します。

心地よい香りが特徴で、ハワイではおなじみの「歓迎レイ」に使われ有名です。熱帯各地では公園や街路樹として植えられ、テンプルツリー(寺院の木)の名で呼ばれています。

挿し木が簡単で、ハワイ土産の棒切れのような枝でも、けっこう 活着します。

温室のプルメリアは、今年最後の花を咲かせています。 落葉前のプルメリアをぜひご覧ください。



旭川市の木 ~ 街路樹で最も多く植えられている木です ~

ナナカマド バラ科

秋の山を彩る紅葉の中でも、ナナカマドの葉は美しく紅くなり、トドマツ、エゾマツなどの針葉樹の緑に良く映えます。この葉が落ちた後も、紅い珊瑚珠みたいな実がいつまでも残ることから雪がその上に乗り、濃い赤と白のコントラストが美しいです。厳しい寒さの冬景色の中にあって、ふと暖かさを感じるそんな趣を添えています。

ナナカマドは「七竈」と書き、その名は「7回、竈に入れても燃えない」あるいは、「生木から炭を作るには7度焼かなければならない」というところからきたものと「牧野植物図鑑」による説があります。ナナカマドはそれ程燃えない木ではなく、備長炭(白炭)の極上品は材質の硬いナナカマドが知られています。炭に焼くには7日間程、かまどでじっくり炭化させるとナナカマドを原木とした極上品の堅炭ができることから7日竈からナナカマドになった説もあります。また、一説に「この木材で作った食器は7世代も使えるほど強い」からだとも云われています。



お正月お餅飾りに欠かせない縁起もの

エゾユズリハ トウダイグサ科



新芽が出ると古葉は下を向いて落ちず、翌年孫葉が出てその成長を見て落ちるため、この名があると云われています。

人の世代交代もこのようにありたいと云うことで、めでたい木として、正月のお飾りに欠かせないものとなっています。

エゾユズリハは、旭川地方にも自生していて、樹形は1m前後で端正な常緑の緑が美しいため、縁起の賀具に用いられ、また、庭木の下木として利用されています。

12月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

シクラメンの置き場所はガラス越しに日光が良く当たり、昼間は 15~18 、夜間は 5~8 に置き、液肥 (1,000 倍程度を半月に1回)を与えましょう。また、花立ちを良くするために新しく出た芽は随時株の中心から放射線状に下げて行く「葉組み」をしましょう。

ポインセチアの生育適温は 18~28 で、8 以下ではほぼ停止してしまします。日当たりの良い場所に置き開花株は肥料の必要はありません。

クンシランは花茎の上りを良くするために 10 程度の低温で水はやらずに管理します。花茎が伸びてきたら居間に置き、水と肥料を与えましょう。

アザレアは 10~15 の場所に置き 40~50 日で開花 します。 開花株はやや寒い部屋の窓辺に置き、鉢土が 乾いたら水やりをしましょう。

観葉植物の殆どが暖房による空気の乾燥を嫌うのでこまめに霧吹きするか、葉面を濡れた布で拭きましょう。また、低温で落葉することもあるので 15 以上で育て、肥料の必要はありません。

クジャクサボテンは水やりを中止し、無暖房の室内で 夜間凍らない程度の場所で休眠させ、夜間照明する室 内には置かないようにしましょう。サンスベリアは最低 7 ~8 まで下がる室内では水やりは中止しましょう。

2 洋 ラ ン 類

シンビジウムの花茎が伸長し始めた鉢は、日中日当たりの良い場所で温度は 10~15 を保ち、水は 5~7日に 1回、たっぷりと与えましょう。発生している幼芽は残します。

デンドロビウム・ノビル系は花芽分化の始まる大切な 時期ですので、日中 20 以下、夜間も 7~10 で管理 し、水は控えめに与えましょう。

コチョウランは 10 以下では生育を休止します。最低 気温が 18 以上保てば、水は乾いたら与え、2,000 倍 程度の液肥を与えましょう。

カトレアの冬咲き系はシースの中に蕾が膨らむ時期です。支柱を立てて花茎を固定し、水は花芽の生長に応じて乾くため4~7日に1回位の割合で与えましょう。この時期、肥料は吸収しないので与えません。

1月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

今年の栽培計画を立てましょう。月めくりの余白のあるカレンダーを用意し、各月の園芸作業を書き込んで目のつくところに吊るしておきましょう。

厳冬期の管理で一番大切なことは室温の変化です。 特に最低気温が何度になるかによって水やりや施肥に 違いが出てきますので注意しましょう。

シクラメンは花や葉が傷んできたら花茎を捻ってから 抜くと芽を傷めません。

アマリリスが休眠から覚め、芽が出てきた場合は植替えをして居間等に移して水やりを行い、加温しましょう。

ハイビスカスは雪降り等のため、光線不足で花つきが 悪い時期です。伸び過ぎている場合は切り戻して側枝 を出しましょう。

シャコバサボテンの花が咲き終わった株は最低 5 位の明るい部屋で乾燥気味に管理しましょう。

正月に観賞されたハナウメの盆栽等は花が終わると 芽が出ないうちに戸外に出し、枝が折れないように囲い 等をして雪の中に戻しましょう。

観葉植物は低温を嫌うので置き場所に注意し、乾かし気味に管理しましょう。サンスベリア(虎尾蘭)の水やりはしません。

アデニウム(砂漠のばら)やクラッスラ属(金のなる木) アロエ(千代田錦)等は窓辺で日光に十分当てて水やり を控えましょう。

2 洋 ラ ン 類

シンビジウムの開花中の鉢は、10~20 で管理をし、 肥料は与えず、花芽が伸びるにつれて水分が必要となることから5~7日に1回位水やりを行いましょう。

デンドロビウム・ノビル系は花芽が確認できるまで、12 月同様に低温で管理しましょう。

コチョウランは冷え込みが厳しくなる時期です。夜間 最低気温を 18~20 に確保し、水ゴケの表面が乾いて きたら株元に水やりをし、またパットに水を入れタオルを 敷いてその上に鉢を置く等の湿度対策も行いましょう。

カトレアの開花中の鉢は温度 13~23 を保ち、水やりは鉢の中がわずかに湿っている状態にします。開花には高い湿度と日光が必要です。